

2026
反核
チャンNPT 国際行動報告会・
平和学習会を開催

建交労全国青年部は反核キャンペーンの一環として、6月20日、広島市まちづくり市民交流プラザにてNPT再検討会議国際行動報告会・平和学習会を開催しました。オンラインを含めて全国から28名が参加し、学びを得ると共に交流を深めました。



平和学習会 ～核兵器をなくすために私たちができること～

たなか みほ
田中 美穂 さん

カクワカ広島とは「核政策をしりたい広島若者有権者の会」の略。核兵器をなくすための一歩として、広島選出の国会議員に直接会いに行き、核兵器禁止条約への考えを聞くという活動をされています。

(詳しくは「カクワカ広島」で検索してみてください！)

前半は平和学習として、講師にカクワカ広島共同代表の田中美穂さんにお越しいただき、「核兵器をなくすために私たちができること～変化の一部になるための具体的なアクション～」についてお話をいただきました。

田中さんは、「核兵器についてまずは知ることから」と語られ、世界には現在 12,241 発の核兵器が存在すること、現役核弾頭(いつでも使える状態にある核弾頭)の数は 2018 年以降増加傾向にあること、核兵器の開発には世界で年間 14 兆円が使われており、1 秒に換算すると 40.8 万円もの額に上ること、日本の金融機関も核兵器製造企業に対して約 5.8 兆円投融資していることなどを教えていただきました。核兵器とジェンダーの関係など、核兵器についての新しい視点も知ることができました。

また、田中さんが核廃絶に向けた活動を始めたきっかけとなった出会いについても教えていただきました。私たちにできることとして、核兵器禁止条約に賛同している議員を知ること(「議員ウォッチ」というウェブサイトが便利)やイベントに参加してみるなどをご提案いただき、核兵器をなくすための取り組みを身近に感じることができました。

NPT再検討会議国際行動報告会

後半は、4 月末より開催された、NPT再検討会議に合わせてニューヨークで取り組まれた国際行動についての報告会を行い、代表団の一員として参加した全国青年部部長の武田喜成さんと全国青年部委員の内田知也さんより報告を受けました。

初日、出国から 20 時間以上を経てようやくニューヨークに到着し、午前 3 時ごろ就寝。午前 7 時にはパレードのため行動を開始するという過酷なスケジュールから始まり、国際会議、NPT再検討会議の傍聴、現地高校への被爆者訪問、レイバーノーツとの交流会などについて、2 人の率直な感想も交えながら臨場感のある報告がなされました。

5 月 1 日に参加したニューヨークメーデーでは、日本にはない盛り上がりを感じ、特に労働組合の運動により誕生したニューヨークのママダニ市長による発言は、聴衆の歓声もものすごく、とても力をもらえるものだったと語りました。大きな道を封鎖しての大規模なパレードに参加し、ビルの窓から手を振る人や店舗の外へ出てきて応援してくれる人もたくさんいたとのことで、街全体でメーデーを盛り上げる様子が伝わってきました。



報告を行う武田さん(右)と内田さん(左)



NY メーデーでのママダニ市長の挨拶も視聴。聴衆たちは大歓声!



司会進行は、愛知学童保育支部・近藤結女さんと旭川支部・春田美羽さん



開会のあいさつは関西支部・神原一行さん



2026NPT 国際行動のスライドショーが視聴できます(約9分)



田中さんの講演とNPT行動の報告で共通して話されていたことのひとつとして、「グローバルヒバクシャ」の存在が挙げられます。日本は世界で唯一の戦争被爆国ですが、被爆したのは日本人だけではありません。日本へ強制連行され被爆した韓国など外国の方々、ビキニ環礁など核実験による被害、核実験場付近に住む方々の胎内被曝など、世界中のヒバクシャの存在も知る必要があると感じました。

また、田中さんがおっしゃっていた「核兵器だけでなく、すべての社会課題は人権の問題。私たちは社会の一部」との言葉も忘れずにいたいと思いました。

開会前、福島からの参加者 2 名の搭乗する飛行機が、濃霧の影響で広島に着陸できず、伊丹空港で降ろされてしまうというトラブルがありました。閉会までに全員揃うことができました。

建交労全国青年部 NPT行動報告会・平和学習会 行動提起



- 01 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に賛同しよう
- 02 SNS (X) で #核兵器いらない を検索してみよう
- 03 身近な人と「自分にとっての平和とはなにか」話してみよう

自分にできることから始めてみてください

署名行動

NPT行動報告会・平和学習会の閉会后、現地参加者は「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を集める署名行動にとりくみました。平和記念公園の出入り口付近で実施予定でしたが、降雨のため、急遽アーケードのある広島本通商店街にて行いました。「署名ぐらいいくらでもするよ〜！」と快く署名に協力してくれる方や、「核兵器はいらないと思う。がんばってください」と応援して下さる方もいらっしゃいました。



約 40 分の行動で
13 筆の署名が集まりました！



夕食交流会

署名行動の後は夕食交流会を行いました。青年部委員会にて出た「広島で牡蠣が食べたい」「お好み焼きも食べたい」との声を実現するべく、部長の武田さんがどちらも美味しく食べられる店を探してくれました。交流会隊長に任命された福岡支部・原さんの「乾杯！」の声で交流が始まり、自己紹介タイムでは呼んでほしい名前を発表し、早速ニックネームで呼び合うなど、初めての参加者も和気あいあいと交流をすることができました。



原爆資料館見学・平和記念公園周辺めぐり

翌日 6月 21日(日)、現地参加者は広島平和記念資料館の見学を行いました。資料館は、活気ある街並みや校舎前で笑う子どもたちと先生など、原爆投下前の広島市の写真から始まりますが、8月 6日午前 8時 15分を指した時計が映し出されたエリアの先から、広島の街並みは一変します。壁一面に広がる、原爆投下直後の広島を写したパノラマ写真を見て、「たった一発で…」とのつぶやきが参加者から漏れました。特に被爆者の遺品が展示されているコーナーでは、大切にしていた小さな置物や、被爆時に着ていたボロボロのワンピースなどの遺品が、今際の言葉や家族とのエピソードと共に展示しており、胸が締め付けられます。

資料館を見学して強く感じたのは、「被害にあったのは、私たちと同じようにただ日常を過ごしていた人」だということです。昔話に出てくるような過去の話ではなく、いつ同じことが起きてもおかしくない世界に私たちは生きている、ということをおぼろげに忘れてはいけません。

資料館見学後、1日目に制作した折り鶴アートを「原爆の子の像」に設置されたブースへ奉納しました。その後、部長の武田さんの案内で、建交労の木や原爆ドーム、レストハウスの地下、爆心地などを巡りました。最後は参加者全員で感想交流を行い、部長の「また会いましょう！」の声で解散となりました。



「原爆の子の像」内部で
スズメが巣作り中でした



★千羽鶴 大募集中!

各地で制作した千羽鶴は、広島・長崎に奉納しますので、広島県本部または長崎県本部へ送ってください。
※恐縮ですが送料のご負担をお願いします